

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【公開番号】特開2013-224009(P2013-224009A)

【公開日】平成25年10月31日(2013.10.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-060

【出願番号】特願2012-267495(P2012-267495)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

H 0 1 B 5/14 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/00 B

H 0 1 B 5/14 A

G 0 6 F 3/041 3 3 0 A

G 0 6 F 3/041 3 5 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月3日(2014.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 光透過性支持層；

(B) 光学調整層；及び

(C) 酸化インジウムスズを含有する光透過性導電層

を含有し、

前記光学調整層(B)が、前記光透過性支持層(A)の少なくとも一方の面上、直接又は一以上の他の層を介して配置されており、かつ

前記光透過性導電層(C)が、前記光透過性支持層(A)の少なくとも一方の面上、少なくとも光学調整層(B)を介して配置されている光透過性導電性フィルムであって：

前記光学調整層(B)が、ジルコニアを含有し、かつ厚さ0.4~3μmであり；かつ薄膜法によるXRD測定において、ジルコニアに由来する2=28°付近のピークの、酸化インジウムスズに由来する(222)面のピークに対する比が1.2~1.2であることを特徴とする、光透過性導電性フィルム。

【請求項2】

前記ジルコニアの平均粒子径が、10~40nmである、請求項1に記載の光透過性導電性フィルム。

【請求項3】

前記光透過性導電層(C)が、酸化インジウムスズを含有する層を大気中90~160で10~120分間加熱することにより得られうる、請求項1又は2に記載の光透過性導電性フィルム。

【請求項4】

請求項1~3のいずれかに記載の光透過性導電性フィルムを含有する、タッチパネル。